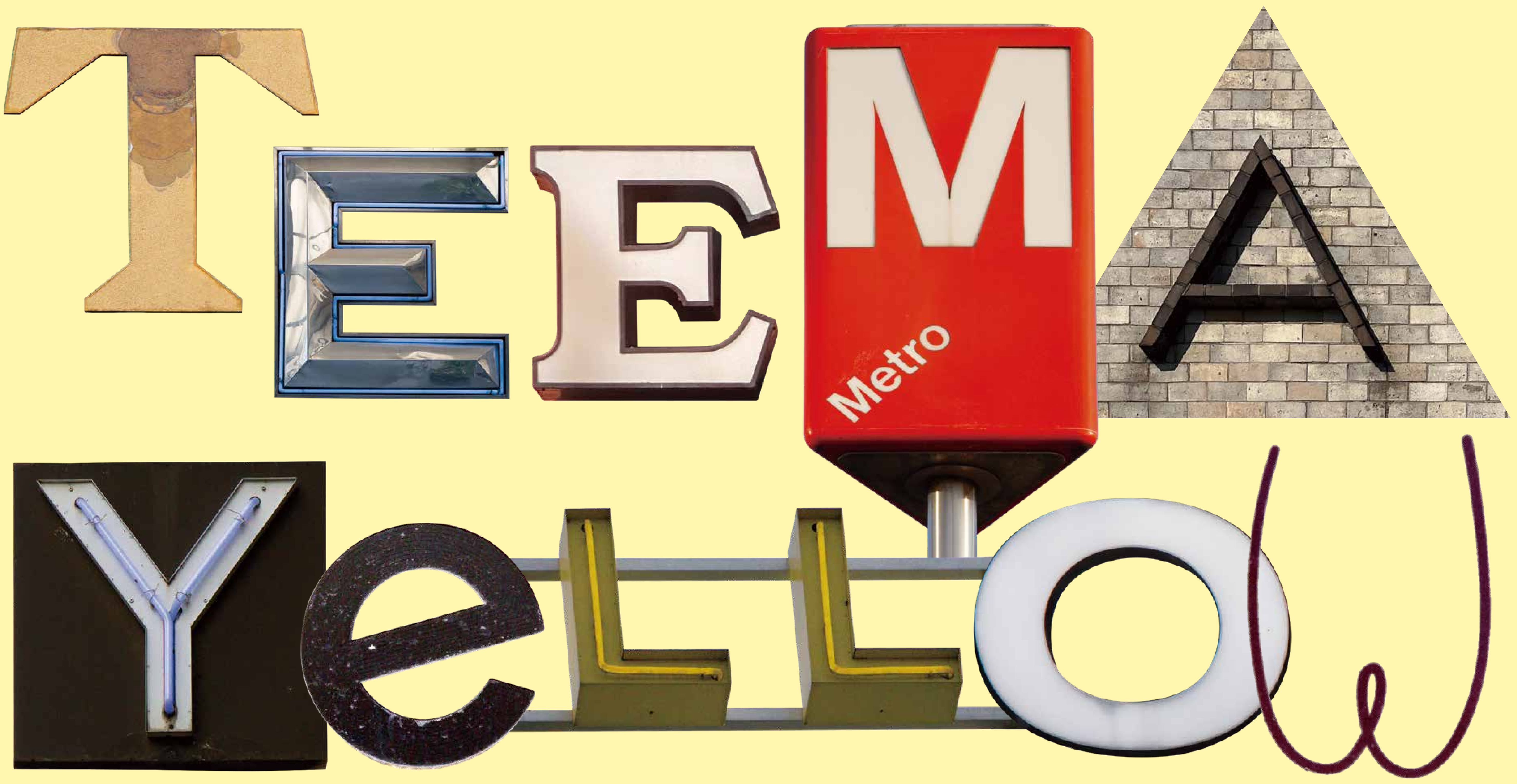
E 1891 年創業のファッツェル。ヘルシンキ Kluuvikatu 本店の『FAZER』の E。ターミネーターを感じる近未来風の看板はインパクト大！一度見ると忘れられません。スコープ本店 冬の omk でも人気のフィンランドで最も有名なチョコレートブランド。 **E** トーベ・ヤンソンも通ったと言われる 1852 年創業のヘルシンキ最古のカフェ『EKBERG』の E。有名なシナモンロールはフィンランド語で korvapuusti（コルヴァプースティ）、ビンタされた耳を意味するそうです。 **M** 真っ赤な『M』の下には地下鉄の駅アリ。Helsinki Metro は世界最北を走る地下鉄。Kamppi 駅にある 65m のエスカレーターはとにかく長～い。



ティーマイエロー オールフィンランドロケ

スコープがオープンしたのは 2000 年、その頃は 3DK のアパートにスコープはあって、1 部屋が事務所、1 部屋が倉庫、1 部屋がスタッフの寝室だった。押し入れが倉庫だった。スコープは最初からティーマを取り扱っていたわけではなく、そもそもオープン当初は北欧がメインだったわけでもない。いろいろ幅広くアレコレ気の向くままに取り扱っていた、というよりも、取り扱いさせてもらえるアイテムを頑張って販売していた。そんな雑多なインテリア雑貨店だったのだけれど、当時の在庫が詰まった棚を思い浮かべると、そこにはティーマのプレートが詰まっている映像が頭に浮かぶから、初期のラインナップからティーマが育ち、今のスコープは始まり、段々と成長を遂げて現在に至ったのだと思う。ティーマがあったから今があるのだと思う。そして、僕にとってのティーマといえばホワイトとイエロー、他のカラーはなかなか売れない色、そんなイメージがある。最初はあまりにシンプルで値段も凄く高く感じていたから、まったくその良さを理解できなかったのだけれど、手にしてから、ずっと僕の生活にはティーマがあり続けている。2025 年でスコープは 25 周年を迎え、ラインナップにはずっとティーマがある。でも、ティーマイエローが長らくいない。いつか、ティーマイエローを復刻したい！それが念願だったが、叶わない夢のような時期が長かった。そんなある日、イッタラブランドを統括しているフィスカースの偉い人たちが 3 名で岐阜の山奥にあるスコープ倉庫を訪問するという奇跡が起こった。思い切ってティーマイエローを復刻したいと直訴してみたら、25 周年だし何かしないとね！いいよ！というような軽快なニュアンスとスピードで OK してくれた。刻印には「scope 25 v. 2025」と入れてくれたし、丁度イッタラロゴがリニューアルするという話が出ていた時期だったから、スコープの復刻するティーマイエローは、新ロゴ旧ロゴどちらでも好きな方を選んでいいよと言ってくれた。このイエローは 2 年間、世界中でスコープだけという取り決めになっているが、その 2 年後にイッタラからイエローが出るのかどうかはわからない。2024 年にイッタラロゴがリニューアル、段々と入荷するアイテムも新ロゴに切り替わっていて、丁度この文章を書いている 2024 年 12 月 10 日に届いたティーマの新色サンプルも新ロゴだった。その新色は 2025 年春の発売と聞いている。新鮮でオシャレな色、今の時代にマッチしているティーマだと思う。とっても新ロゴにマッチしていた。そして一緒に並んでいるイエローのティーマは、旧ロゴと共に少し終わりを迎えるような印象を受けた。でも、一緒に並べても違和感なくていい雰囲気でもあった。どこか時代が移り変わっていくような感じがした。スコープのはじまりはティーマイエローだった。イッタラ旧ロゴの終わりはティーマイエローとなった。だから、ティーマイエローは始まりの終わりなのだ。そう、なんのこっちゃ、でも、イエローピーヤ、つまり僕はハッピーです。

ハンナさんが子供の頃に恋に落ちたのは プラターワイドとソルトシェイカー

Hanna Jämsä ハンナ・ヤムサ / マイスオミ株式会社代表

シャ：ハンナさんにとっての、最初のティーマイエローから話を聞いてもいいですか？ **ハンナ：**私の最初のティーマイエローはキルタです。その当時はまだキルタでした。私の家族がよく遊びに行っていたお家で、すごく大きくて黄色いプラターを見ました。私たちを招待してくれた家族のご主人が大きなステーキをのせていたんです。当時 5、6 歳だったと思うのですが、本当にきれいな黄色だなと思って。大人同士の話を聞きながら「つまらない話をしている大人が、こんなきれいな食器をもってるんだな」と。大人って白やグレーを使っている印象があったのですが、私はこういうイエローが好きだなと思ったんです。それを大人に伝える勇気はなかったのですが、このつまらない大人がどうしてこんなきれいな黄色いお皿を手にしたんだろう、って思いました。それが黄色いティーマとの最初の出会いです。**シャ：**それから 50 年くらいティーマイエローとの付き合いが続いてるってことだね。**ハンナ：**そうね。**シャ：**ホワイトとイエローはもちろん合うと思うんだけど、ティーマイエローと一緒によく使う食器って何？お気に入りのセットっていうか、コンビネーション。**ハンナ：**スンヌンタイを一緒によく使います。ソースボートですよね。**シャ：**いい意見だなぁ！笑 **ハンナ：**スンヌンタイのソースボートにチョコレートソースをいっぱい入れて。私の家族はみんなチョコレートソースが大好き。ティーマイエローに盛り付けたアイスクリームにチョコレートソースをかければもうパーティーよ。**シャ：**確かにスンヌンタイのイエローも少しくすんでいるからね。**ハンナ：**ティーマのイエローとスンヌンタイのイエロー、まったく同じ色ではないんだけど、すごく合いますよね。**シャ：**ティーマの中でイエローが一番重要だよね。**ハンナ：**もちろん、イエローが一番大事かな、ホワイトより。ヘモグロビンが少ないと貧血になるでしょ、白のティーマだけを使うと血色が悪くて貧血気味になるから、そこにはイエローのエネルギーが要ると思います。**シャ：**じゃあスコープはそんなイエロー復活させて偉いね！ **ハンナ：**ええ。本当にそう思います。因みにイエローがティーマの中で一番重要、というのを表している話があって。オンラインのフリマを覗くと、イエローがいつも一番高いんですよね。一番皆さんが欲しがるビンテージがイエローです。**シャ：**素晴らしい！**ハンナ：**ティーマが人気の理由は、小さなプレートから大きなプラターまでラインナップされているというのが一つあると思います。蚤の市でイエローを見つけると値段が段違いなんです。**シャ：**そういう幅があることがティーマの魅力ってことね。**ハンナ：**そうですね。豊かなバリエーションの中から自分が必要なものを選べるテーブルセットというのがフィンランドで長く愛されている理由の一つだと思います。すごくフレキシブルですよね。買うのも組み合わせるのもフレキシブル。フィンランド料理でもイタリア料理でもメキシコ料理でもタイ料理でも、どんな国の料理を作ってもそれに合う形がある。**シャ：**ありがとうございます。ティーマの魅力をよく理解できました。最後に、ハンナさんの好きなティーマイエローを教えてもらえる？ **ハンナ：**私の一番好きなティーマイエローはプラターワイド。子供の頃に最初に見て恋に落ちたようなアイテムだから。一つ言いたいのが、フィンランドではキルタとティーマはどこにでもあるもの。毎日の日常のほぼ一部になっている。でも忘れちゃいけないのがこのソルトシェイカー。これはニューヨーク MOMA のパーマネントコレクションにもなっていてデザイン的にも世界でトップレベルのもの。日常にしっかりと溶け込んでいる一方で、世界的にもしっかりと認知されているということね。

オイバ・トイッカの次男 ヴィッレさんが愛用しているコーヒーマグ

Ville Toikka ヴィッレ・トイッカ

シャ：今回のフィンランド出張で僕たちは、フィンランドの人たちが実際にティーマイエローを使っているのか？もしそうであればお気に入りのイエローは何？そんなコメントを集めているんです。最初に、もし覚えていたらですが、ヴィッレさんがヌータヤルヴィに住んでいた子供の頃、カイ・フランクがお隣に住んでいたと思うんだけど、例えばカイ・フランクがオイバの家でティーマを使っていた記憶はありますか？ **ヴィッレ：**そうですね、カイ・フランクはうちでよくご飯を食べてました。使っていたのは、ティーマホワイト。笑 **シャ：**ティーマホワイト！笑　あ～～～そうなんですね。**ヴィッレ：**だけど今僕はランチの時にティーマイエローのプレートを使っているよ。一番大きいのじゃなくて、、、**シャ：**23cm かな！？ **ヴィッレ：**そうだと思う。笑　普段はイエローマグをコーヒーに使って、プレート 23cm にソーセージをのせてレンジでチンしてるよ。プレート 23cm が一番人気なんじゃないかと思うんだけどね。**シャ：**カイ・フランクはいつも白を使っていたの？ **ヴィッレ：**そう。**シャ：**白なんだー。ティーマイエローはヌータヤルヴィのオイバファミリーの家にありましたか？ **ヴィッレ：**いいえ、あの時代はティーマイエローは持ってなかったよ。イエローは今、僕の自宅で使ってる。ヌータヤルヴィで使っていたのはティーマホワイト。カイ・フランクはいつもオイバの家にご飯を食べに来てた。カイ・フランクはブラックのマグも使ってた気がする。**シャ：**カイ・フランクが使っていたのは、オイバの家の食器なんだよね？ **ヴィッレ：**そう、だってカイ・フランクは自分で料理したことないから、いつもオイバの家で食べてうちの食器を使っていたよ。お隣さんだったしね。カイ・フランクはいつもヌータヤルヴィにいたわけじゃなくて、例えば 2 週間ヘルシンキ、1 週間ヌータヤルヴィ、みたいな感じで生活していたんだ。だからオイバの家でティーマホワイトを使って食事したりブラックのマグでコーヒーを飲んでいたんだ。**シャ：**そこが不思議なんだけど、オイバもティーマを買って持ってたってことだよね？ **ヴィッレ：**そう、ホワイトを持ってた。**シャ：**そうなんだー。ハカニエミのオイバの家で見たのって、コボルティとか A4 とか、オイバ自身がデザインした食器しかなかったイメージだから。**ヴィッレ：**なぜならば、オイバはヌータヤルヴィでティーマを使いすぎて飽きちゃったんだ。ティーマは好きだったけど、オイバはそんなに使ってなかった気がする。僕たちは使っていたけどね。**シャ：**オイバはいつも真っ白な食器なんてつまらないって言ってたもんね。**ヴィッレ：**でも 60 年代、70 年代のヌータヤルヴィではティーマホワイトしか使ってなかったよ。ブルーも少しあったかな？ **シャ：**ヴィッレさんが家でよく使っているティーマはイエローとホワイト？ **ヴィッレ：**ほとんどイエローとホワイトです。あとは、ハカニエミのオイバの家にもあったでしょ？ A4 のシリーズは僕も使ってるよ。**シャ：**あのオイバの食器は、そっちに行ったんだね！笑

大学生時代のハッリが ダルい朝に気分を上げていたマグ

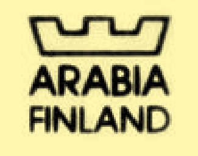
Harri Koskinen ハッリ・コスキネン / デザイナー

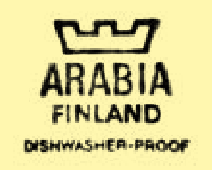
シャ：ハッリは僕らがティーマイエローを復活させるってのはもう知ってるよね？ **ハッリ：**うんうん、知ってるよ！ **シャ：**ハッリって、ティーマイエロー使ってる？ **ハッリ：**キルタのイエロー、TV セットを使ってる。**シャ：**TV セットかぁ～～～！ **ハッリ：**いくつか持ってたこともあるんだけどね。今、ウィルカラコスキネン生活に変わったじゃない？だからカイ・フランクのアイテムはあんまり使ってないんだよな～。**シャ：**あー。じゃあまぁ、このインタビューはやめようか？ **ハッリ：**あっ、でもティーマのイエローはすごく好きな色だよ、すごくいいね。どんなアイテムがあるの？ **シャ：**9 アイテムをスコープで発売するんだ。**ハッリ：**いいねいいね！これだけ揃ってたら、料理のサーブにも使いやすそうだね。**シャ：**実は今回、何をインタビューしたかったかというと、フィンランドの著名人がティーマイエローが好きだったり愛用してるっていうのを取材して、ちょっと記事にしたかったっていう。**ハッリ：**そうだったんだ、今は使ってないけど、大学の時はイエローのティーポットを使ってたよ。プレートを買ったことはないけど、イエローのマグは持ってた。こういうのは毎日本当に普通に使っていたから、ティーマイエローのマグは大学生の時に使ってた。**シャ：**じゃあ大学生の時にイエローのマグを使ってたって、記事に書いてもいい？顔写真と一緒に紹介してもいいかな。**ハッリ：**いいよ。朝起きてダルい時とか、疲れている時、黄色いマグがあると、すごくフレッシュな気分になって元気になるから、このイエローのマグを使ってたんだよね、ハハハ。**シャ：**それ以外に持っていたティーマは、ホワイトとか？ **ハッリ：**ライトグレーだよ。ブルーは今でも持ってる。ブルーはいくつか他の型も持ってるよ。**シャ：**じゃあいいね。マグと一緒に写真撮らせてもらってもいい？ **ハッリ：**OK、OK、黄色い椅子に座って撮ろうかな。笑

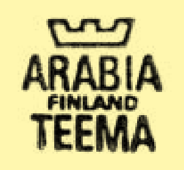
ビンテージショップ マルヨさんの 朝食はシリアルボウルにポリッジ

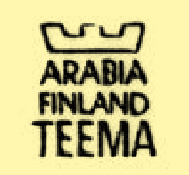
Marjo Erkko マルヨ・エルッコ / ビンテージショップ Bisarri オーナー

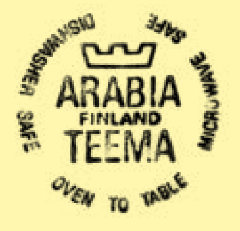
シャ：マルヨさんが最初に買ったティーマイエローのアイテムを教えてくれる？ **マルヨ：**最初に買ったティーマイエローはマグ。イエローマグを買って、その後でブラックのマグを買い足したのよ。今の一番のお気に入りはシリアルボウル 15cm、サイズが小さいから好きなのよね。**シャ：**シリアルボウルはいつもどんなふうに使ってるの？ **マルヨ：**朝食のポリッジ（オートミールと牛乳を煮たお粥）に使っているわ。冷凍のブラックベリーとバターを入れて食べるの。**シャ：**フィンランドではシリアルボウルにオートミールっていう人がほとんどだね、そこにブラックベリーってね。ブラックベリーっていうのはブルーベリーのこと？ **マルヨ：**そうそう、年間 50 L はブルーベリーを消費してると思うわよ。胃腸にいいから毎朝ポリッジを食べてるの。**シャ：**ティーマを眺めていると、ホワイトとイエローが中心なのかなって思うんだけど、イエローってすごい大事な色だって思う？今はもう作られなくなったじゃない？ **マルヨ：**イエローとホワイトは一緒に使うとすごく映えるわね、どちらも明るい色だから料理も引き立つし、すごく重要な色だと思う。**シャ：**じゃあマルヨさんのティーマの好きな色ランキングってどんな感じ？ **マルヨ：**ホワイト、イエロー、それでブラック。ブルー、グリーンそんな感じ。**シャ：**グレーは？ **マルヨ：**あんまりかな、グレーはキルタのオリジナルカラーになかったから。キルタのブラウンは好きよ。夏のコテージで使ってるのは、イエローのキルタ。私の若い頃も、母がイエローのキルタを使っていたわ。今は母のキルタイエローと私のティーマイエローが混ざっている。**シャ：**いい話だね、そういう写真撮ろうかな？ **マルヨ：**写真を撮るなら、いろんな色を使った料理と一緒に撮るといいと思う。いつもパラティッシを勧めることが多いんだけど、料理をのせることを考えるなら、やはり単色の方がいい。色が混ざってない方がいいと思うわよ。**シャ：**ホワイトとイエローのテーブルに他のシリーズを一緒に使うなら何が合うと思う？ **マルヨ：**そんなにカラフルなものじゃないほうがいいと思うから、ブラックのパラティッシがいいかな。**シャ：**昨日ハンナさんもその組み合わせやってたなぁ。ありがとう、いいこと聞いたよ。**マルヨ：**どういたしまして。さっきのムーミンオペラともすごく合うね、マッチしてる。**シャ：**ちょっとキルタみたいな色だよね。いいとこ拾った、ナイス！

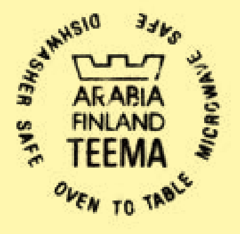
①


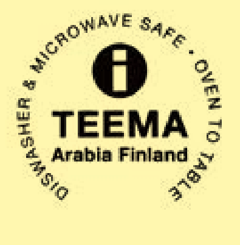
②


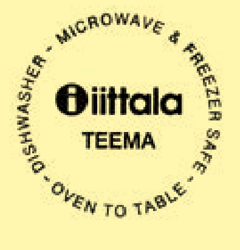
③


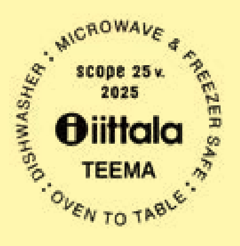
④


⑤


⑥


⑦


⑧


⑨


ARABIAからiittalaへ ティーマ裏刻印の歴史

ティーマの前身キルタ（1953 年 -1974 年）が生産終了となった 7 年後の 1981 年、キルタの基本的な概念はそのままにフォルムの修正、カラー展開、ラインナップの見直し、そして当時の新しい生活様式に合わせ、電子レンジでも使えるように、陶器から磁器へと素材を変更し、より丈夫で機能的なシリーズへとリニューアルした「ティーマ」。発売当時はキルタと同じ ARABIA の製品でした。ARABIA 期の刻印を探し集めてみると全部で 6 種類見つかりました。これを機に刻印ごとの生産年代を明らかにしたかったのですが、資料がなく困難だったため、ヘルシンキのビンテージショップ「Bisarri」オーナーのマルヨさんにご協力いただきました。ところがマルヨさんに聞いても、刻印で年代を判別するのはとても難しいとの話。アイテムによって使う刻印を変えたり、過去の刻印をまた再び使うような事もあった時代なので、当時の ARABIA 工場の人ですらクリアにするのは難しいだろうという見解でした。という事で、ARABIA 期の年代は確定することが出来ませんでしたが、今回はマルヨさんがビンテージを判別する際の肌感を元に、ARABIA 期の刻印を①から⑥までアバウトこんな感じという順番で並べていただきました。

※この情報は非公式ですので、あくまでも個人が参考にする以外に使用しないでください。
※転写転載も禁止ということでお願いします。

ARABIA 期
1981-

【1981 年 - ①】
ティーマの最も古い刻印は①。というのは資料的に見ても間違いなさそう。ARABIA の上にある『王冠』のようなグラフィックは、ARABIA 工場の『煙突』を表しています。

【年代の順番不明 ②③④⑤⑥】
②③は、ほぼ同時期ではないかという感覚。続いて④。その後に、現在のロゴでもお馴染みとなった「DISHWASHER SAFE　OVEN TO TABLE　MICROWAVE SAFE」の文字が入った⑤⑥が登場。これが ARABIA 期の後半、というのがマルヨさんの見解。

iittala 期
2003-

【2003 年前後 ⑦】
2003 年、ティーマはアラビア社からイッタラ社へブランドを移行。そのブランド移行の間で作られた刻印が⑦。特に大きくデザインされた「i マーク」が印象的。ARABIA のイメージから一新したいイッタラの主張の強さが表れているようにも見えますが「Arabia Finland」も、小さく記されている、配慮のような？名残もあり、過渡期を感じられる刻印です。この刻印は 2 年程しか使用していなかったと思われるので、ビンテージショップで見つけるとつい手に取ってしまう、気になる存在の刻印です。

【2004 年 ⑧】
私たちが一番見慣れている刻印⑧。マルヨさんによると、この刻印になったのはティーマにレッドが登場したタイミングの 2004 年。食器洗浄機・電子レンジ・オーブンに加えて、冷凍庫でも使える「FREEZER SAFE」という一文が加わりました。

scope 25 v.
2025

【2025 年 ⑨】
iittala の新ロゴが発表された 2024 年、スコープ 25 周年を記念して iittala に別注したイエローティーマ。新ロゴが発表される前の発注だった為、裏刻印は旧ロゴ＋scope 25v. 2025。これが i マーク刻印最後のティーマとなりそうです。1981 年から続くティーマの裏刻印に scope の名が記される日がやってくるとは！

ハンナさんが作るフィンランドの家庭料理による、ティーマイエローのラインナップ紹介。

Korvapuusti
シナモンロール

シナモンロールをプレート 12cm にのせるって聞いた時は、小さすぎない！？と思ったけど、小さいシナモンロールは可愛くて食べやすかった。沢山焼いて冷凍しておけば、コーヒータイムにちょうどいい。

plate 12cm

Rakuten

Sydän voileipä
ハートのオープンサンド

フィンランドのサンドは、だいたいオープンサンド。ハート形のライ麦パンに、エメンタールチーズとプチトマトをのせて♡ハンナさんは料理を作る時、とにかく沢山のプレート 15cm を使う。

plate 15cm

Rakuten

Lohileipä
サーモンのオープンサンド

ハンナさんお手製のグラブラックス（サーモンの塩漬け）を厚めにスライスし、パンからはみ出るほど贅沢にのせたオープンサンドはプレート 17cm に。ディルをたっぷりのせて、お酒と一緒にどうぞ。

plate 17cm

Rakuten

Blini
ブリニ

ロシアから伝わった、そば粉を使った小さなパンケーキ料理。魚卵、ビーガン用魚卵もどき、紫タマネギ、クリームチーズ、サワークリーム、グラブラックス etc. をプレート 23cm に自由に盛り付けて。

plate 23cm

Rakuten

Savustettu silli
ニシンの燻製オイル漬け

1743 年から続く伝統の「ニシン祭り」がある程、フィンランドでは昔から親しまれている魚ニシン。ブリニをサーブする時の付け合わせとして。小さな魚を盛りつけるのはスクエアプレート 12×12cm。

square plate 12×12cm

Rakuten

Sienikeitto
きのこのスープ

スッピロヴァハベロ Suppilovahvero（あんず茸）を無水調理し、玉ねぎ、バター、生クリームを加え、とろみ付けにマッシュポテトの粉を使った濃厚スープ。ディーププレート 21cm でメイン料理として。

deep plate 21cm

Rakuten

Mustikkapiirakka
ブルーベリーパイ

フィンランドのお母さんはクイックに料理を作るのよ！と言うハンナさんが準備 10 分で出来ると謳うブルーベリーパイ。アイスクリームをたっぷり添えてシリアルボウルでいただくのがフィンランド流。

cereal bowl 15cm

Rakuten

Maitotee
ミルクティー

ティーカップはもっぱら料理に使うと言っていたハンナさん。シナモンロールに刷毛で黄身を塗る時も使ってました。ミルクティーを注ぐ際も「こんな少しで足りるの？」と、スレスレまで攻めていました。

tea cup

Rakuten

Maito
ホットミルク

コーヒー消費量世界トップクラス、1 日に何度もフィーカ（お茶をする）という生活習慣があるフィンランド。ハンナさん家の子供達は、コーヒーも、水も、牛乳も、なんでもマグで済ませます。

mug 0.3L

Rakuten